

「2016年熊本地震」復興支援活動報告会



熊本地震 益城町総合体育館避難所運営の現状と課題

震度7を2回記録した熊本県益城町。その益城町において、最大の避難場所となった益城町総合体育館。指定管理者として同体育館を管理・運営していた熊本YMCAは、発災直後から避難所運営に尽力し、全国のYMCAはもとより様々な企業や団体と協力し、半年もの間避難者を支え続けました。

そこから見えてきた運営の現状と課題について、現場の最前線に立ち続けた丸目氏が語ります。

地震発生直後の判断、発災後に起こる状況、避難所で暮らすということ、復興への道筋など、丸目氏の話から、防災力向上につながるヒントがあるはずです。

講師 丸目陽子氏



鹿児島県志布志市出身。
鹿屋高校～熊本県立大学
卒業後熊本YMCAへ入職。
スポーツ指導者として活動。
2015年4月から益城町総合運動公園で副所長として管理業務を行う。熊本地震発災から避難所運営に関わる。
避難所では、管理者として女性の視点で様々な課題解決に尽力した。

主催：

一般財団法人鹿児島YMCA

共催：

鹿児島ワイズメンズクラブ

〒890-0056

鹿児島市下荒田3-43-7

TEL: (099)296-7901 FAX: (099)296-7902

担当 新内（しんない）

日時

2017年 2月 27日 (月) 受付：14：00 開始14:30～16:30

会場

鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島県鹿児島市与次郎1丁目8-10）

会費

無料

参加お申込 ※先着100名の事前申込制です。

メールまたはFAX（下記に記入）にてお申し込みください。

MAIL kagoshima@kagoshima-ymca.org FAX 099-296-7902

①参加者全員のお名前

②会社・団体名

③電話番号

④講師へのご質問

申込受付期間：2/17 18:00時まで

●内容は予告無く変更する場合がありますので、ご了承ください。